

(個人山行報告) 北ア 立山 別山～真砂岳・室堂山展望台

日程:2023年8月20日(日)～22日(火) 天気:三日間共 晴れ後曇り

参加者:5名

8/20 千葉—新宿—信濃大町—扇沢—立山室堂 TM……雷鳥荘(泊)

8/21 雷鳥荘…雷鳥沢…新室堂乗越…劔御前小屋…別山南峰…北峰往復…真砂岳…大走り…雷鳥沢…雷鳥荘(泊)

8/22 雷鳥荘…立山室堂 TM…一の越分岐…浄土山分岐…室堂山展望台…立山室堂 TM—扇沢—大町温泉—信濃大町—新宿—千葉

■昨年7月に一の越から立山三山縦走を試みましたが、雨の為やむなく大汝山までで断念、今年リベンジ計画した。

雷鳥荘は人気の小舎らしく、お料理も旅館並みに美味しく、部屋は二段ベッドの8人部屋で快適でした。展望温泉風呂がこれまた最高！夕方少し小雨が降ったがそのあとに見事な虹がかかった。

翌21日朝5:20に出発。天場を経て雷鳥沢まで標高差100m降り、途中雷



鳥坂分岐を見送って、新室堂乗越まで標高差130mほどの登り。夏と秋の花の混在するお花畑の中、若い雷鳥が草をついばんでいた。別山乗越の劔御前小舎に着く頃には雲が上がってきてしまい、楽しみにしていた劔岳の眺めはお預け。昔よりすっかり綺麗になった御前小舎でトイレをお借りし

てから別山へ。巻き道の分岐まで来ると一時劔岳が見えたが、頭を雲に隠したままで、このあと南峰から北峰へと歩を進めたが、雲がどんどん上がって来て、とうとう真っ白になってしまった。別山からの下りは岩場の急な下り。短い緊張する。



真砂岳の山頂からは、すぐ下に内蔵助山荘が見えて、この時期でも北斜面には大きな雪渓が残っている。そこから吹き上げて来る風が冷たいので、少し先の風が除けられる場所でランチタイムにした。これから降りる大走りの長い尾根を眺めながら、雷鳥荘の美味しいお弁当を頬張る。

分岐まで来ると尾根の中程に小さく歩いている人達が見えて、意外とここを利用する人が多いことに少しほっとした。しかしザレたごろ石の急斜面なので気は抜けない。滑らないように、石を落とさないように注意しながらゆっくり下った。雷鳥沢の天場で一度休憩し、今度は雷鳥荘に向けて急な石段をふうふう言いながら登った。中に入る前に外のベンチで泡で乾杯の後、展望風呂にゆっくり浸かった。

(歩行6:49 行動8:50 休憩2:01)

22日は朝食後7時に出発。今朝もピーカンの快晴。予定では浄土山に登る予定だったが、浄土山分岐から見上げた山頂への道が凄い急登に見え、どうしても11:15発の扇沢行に乗りたかったので、浄土山はあきらめ、分岐の先の室堂山展望台まで登ることにした。ところが！この展望台から見えた景色がとんでもない景色だった！

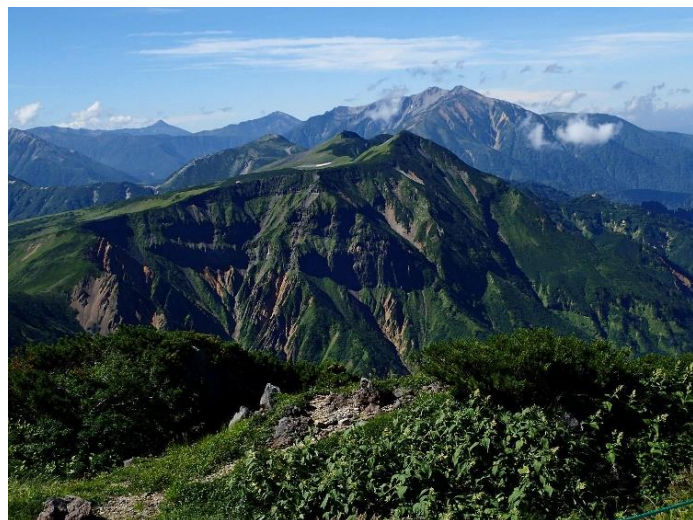
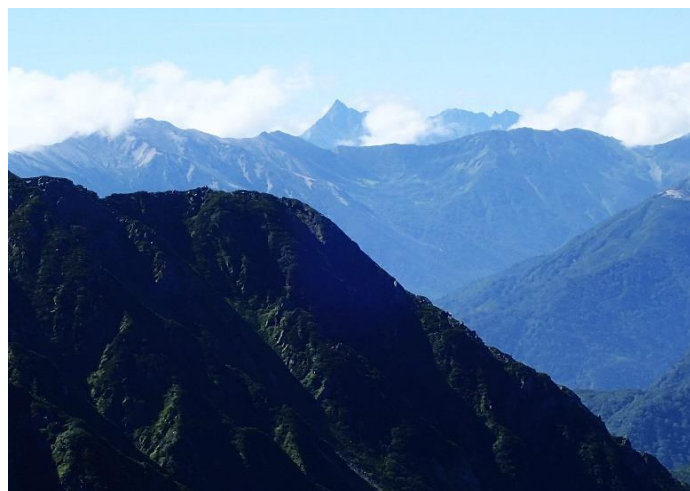
目の前には迫力ある立山カルデラの赤茶けた斜面。その上に広がるなだらかな五色が原。赤い屋根の五色が原山荘が小さく見える。そして右端の薬師岳から左に連なってゆく裏銀座の山々、再奥の槍ヶ岳まではっきりと同定できる。ずうっと



眺めていたい景色だ。コーヒー片手になんと贅沢な時間でしょう。各々の山に登った時の光景が蘇ってくる。幸せな時間はあっという間に過ぎて、帰りは慌ただしく薬師の湯に入ってから帰った。夏から秋への不安定な天候の中、一度も雨に合わずに、全員無事に怪我無く歩けたことを同行の皆様にご感謝したいと思います。

(記 S.H)

(歩行 2:51 行動 3:34 休憩 0:43)



トウヤクリンドウ



ミヤマリンドウ



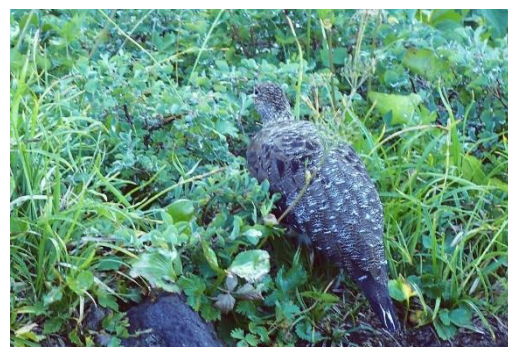
ミヤマアカバナ



ミヤマコゴメグサ



ワレモコウとヤマハハコ



若い雷鳥